

としよかん だより



2022. 3 NO.203

〒671-2576
宍粟市山崎町鹿沢 81

宍粟市立図書館

TEL 62-4620
FAX 62-9688

「出合いに感謝して」

村井 祥子

夫の転勤に伴い、宍粟市に来て、もうすぐ10年になります。家が近いこともあり、図書館はよく利用させていただいています。こどもの頃から本が好きで、いつか図書館の近くに住みたいと思っていましたので、ここに来て願いが叶って、とても感謝しています。

宍粟市は良い意味で人と人との距離が近く、図書館も温かい雰囲気なのが印象的です。今は社会人になった息子もよく利用させていただいていたみたいで、今でも司書さんが「息子さんはお元気ですか？」と声をかけてくださるのが嬉しいです。また、私はいろいろな本を読むので、絵本、小説、手芸、アウトロー系ノンフィクションなどを受付カウンターに持っていたときに「幅広いですね」と言われたことも面白かったので、忘れられません。

先日、行政書士試験に合格したのですが、試験を受けてみようと思ったきっかけも、図書館の実用書

コーナーをなんとなく見ていて目に留まった一冊の本でした。ほぼほぼ四半世紀ぶりの勉強でしたので記憶力も忍耐力も落ち、たまに脳が絞られるような感覚も覚えましたが、勉強をしていた8カ月間、図書館にある行政法の本や実務の本、勉強法の本に随分と助けてもらいました。性懲りもなく、また新しい勉強を始めたので、これからたくさん利用させていただきたいと思っています。

午後に図書館に行くと、学習スペースで高校生が勉強しているのを見かけます。私も賑やかなところで暮らしているので、たまに静かな環境に行きたいと思うこともあるのですが、図書館の学習スペースはオープンすぎて（気恥ずかしくて）なかなか利用できません。場所的な問題やコロナのこともあり難しいとは思いますが、いつか、あまり目立たない奥のほうにできるといいなと、こっそり期待しています。

転勤族なので、いずれ宍粟市を離れる時が来ますが、こどもたちの学びと情緒を育み、私にもチャレンジのきっかけを与えてくれたこの図書館との出会いに心から感謝しています。

こんな本あります

『目の見えない白鳥さんと アートを見にいく』

川内有緒 著(集英社インターナショナル、2021年刊)

目の見えない人がアート作品を「見る」とは？

そんな疑問を持ちながら著者は友人と、彼女の知り合いで全盲の白鳥建二さんと一緒に美術館に行きました。白鳥さんの前で二人は絵を選び、絵について話します。犬を抱いた女性が描かれた絵について、二人は「セーターの色は赤っていうよりも朱色に近い」「壁が少し黄色がかかっていて」など口頭で忠実に描写しました。ところがピカソの《闘牛》を前にすると、「馬が二頭？」「牛は一頭？」「闘牛士はこれ？」と二人の会話は混乱し説明になりません。しかし、白鳥さんはみんなと作品を見て会話することで「意味を探ったり、発見していくのが面白い」といい、この收拾のつかない解説を楽しみました。

白鳥さんと一緒に絵画を見ることは、今まで自分が行ってきたアート鑑賞とは違うと著者は思いました。白鳥さんに作品を見せることが目的であったはずなのに、見えるものを言葉にすることで、作品をより深く感じられたのです。

この出会い以降、絵画や仏像だけでなく、難解な現代アート、「夢を見る」ための部屋で全身タイツを着て棺桶のような箱で一晩過ごす体験型の作品も白鳥さんや友人たちと鑑賞していききました。

作品を言葉で表し、わからないことや矛盾もそのままにして、意見を言い合う。解釈が同じにならなくてもよい、違いがあるからこそ発見があり自分が豊かになる。他人と共有する鑑賞の良さを著者はこう伝えます。

美術を鑑賞するとは？ 障害とは？ 人とわかり合うとは？ これらの難しい問いを肩ひじを張らずに語った一冊です。

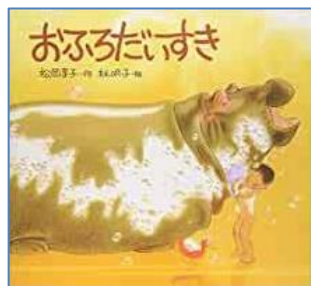
子どもの本 34

「おふろだいすき」

松岡 享子 作
林 明子 絵(福音館書店)

まこちゃん、いつもあひるのプッカとおふろに入ります。体を洗っていると、お湯に潜って遊んでいたプッカが言いました。「大きなかめがいますよ」

「ぼかっ、ざあーっ。かめがおふろの底から浮き上がってききました。驚いていると、ふたごのペンギンが現れました。ペンギンたちは滑り落ちた石けんを追いかけ、競争を始めました。その石けんをばくくと飲み込んだのはオットセイでした。オットセイは口からシャボン玉を出しました。シャボン玉はどんどん大きくなり、大きな音を立てて割れました。その音に驚いて、お湯の中からかばが顔を出しました。次から次へと生きものが現われ、おふろ場がどこまでも広がっていき、感じられます。読んでもらえば、四歳くらいから楽しめます。」



「ペニーさん」

マリー・ホール・エッツ 作・絵
松岡 享子 訳(徳間書店)

ペニーさんはとても貧乏でした。が大勢の家族がいきました。

馬のリンピー、牝牛のムールー、ヤギのスピロップ、ブタのパグワッグ、子羊のミムキン、雌鶏のチャクラック、そして、雄鶏のドゥーディーです。

ある日、動物たちがお隣さんの畑に入り込み、食べ荒らしました。怒ったお隣さんは、動物たちを超越すか、自分の代わりに畑仕事をするか選べと言いました。ペニーさんは困りました。動物たちと別れたくありませんが、お隣さんの仕事をすれば、工場で働けず、動物たちの食べ物を買えなくなります。

ところが、ペニーさんが悩んでいるうちに、仕事がいっつの間にか進んでいきます。意外な救いの手が差し伸べられたのです。

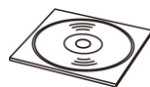
白黒のしっかきとした線で描かれた絵は温かみがあります。実直なペニーさんと個性的な動物たちとの心地よい関わりが味わえます。六歳くらいから楽しめます。



新着図書紹介

◆このリストは2月末までに入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	件 名
子どもに定番絵本の読み聞かせを	尾野 三千代 編著	児童図書館研究会	読み聞かせ
生きのびるための「失敗」入門	雨宮 処凜	河出書房新社	人生訓
日本神話がわかる神々のくらし	瓜生 中	講談社	神 話
秀吉襲来	渡邊 大門 編	東京堂出版	日本史
歴史を動かした重要文書 ヴィジュアル版	ピーター・スノウ	原書房	世界史
菅田哲也が訊く！ 警察監修プロフェッショナルの横顔	菅田 哲也	光文社	警 察
昔話の扉をひらこう	小澤 俊夫	暮らしの手帖社	民 話
父がひとりで死んでいた 離れて暮らす親のために今できること	如月 サラ	日経 BP	高齢者
旅する気分であちがい探し 日本編 楽しく脳トレ！	—————	ブティック社	健脳法
ねこ背 何歳からでも自力で治せる！ 整形外科の名医が教える最新1分体操大全	—————	文響社	姿 勢
ゾウが教えてくれたこと ゾウオロジーのすすめ	入江 尚子	化学同人	ゾ ウ
たんぱく質しっかりおかず 1食20gが簡単にとれる！	牧野 直子	池田書店	料 理
ハーブのひと皿 香りあふれる157レシピ	Scales	立東舎	料 理
つけ襟ライフ コットン、リネンで作る	川端 さよこ	文化学園文化出版局	洋 裁
いつかは訪れたい美しき世界の教会	マイケル・ケリガン	日経ナショナルジオグラフィック社	教会建築
食べものが足りない！ 食料危機問題がわかる本	井出 留美	旬報社	食糧問題
探訪貨車駅舎 かつて線路を走っていた建物たち	レイルウェイズグラフィック	グラフィック社	駅
マステで素敵にアレンジ楽しいギフトと飾りつけ	森 珠美	メイツユニバーサルコンテンツ	紙工芸
すぐに描きたいはがき絵180 わかりやすい・描きやすい	小池 良子	日貿出版社	水墨画
刀装具 新・解体新書	生田 享子	天夢人	刀 剣
13歳からのファシリテーション	ちよん せいこ	メイツユニバーサルコンテンツ	ファシリテーション
図説花開くアメリカ児童文学 「若草物語」から「大草原の小さな家」まで	ちば かおり	河出書房新社	児童文学
源氏物語解剖図鑑 平安人の暮らしとキモチがマルわかり	佐藤 晃子	エクスナレッジ	源氏物語
母の待つ里	浅田 次郎	新潮社	日本小説
奔流の海	伊岡 瞬	文藝春秋	日本小説
砂嵐に星屑	一穂 ミチ	幻冬舎	日本小説
創世の日 巨大財閥解体と総帥の決断	江上 剛	朝日新聞出版	日本小説
残月記	小田 雅久仁	双葉社	日本小説
いえ	小野寺 史宜	祥伝社	日本小説
もう別れてもいいですか	垣谷 美雨	中央公論新社	日本小説
信長、鉄砲で君臨する	門井 慶喜	祥伝社	日本小説
楽園ジューシー ホテルジューシー(2)	坂木 司	KADOKAWA	日本小説
山狩	笹本 稜平	光文社	日本小説
花咲小路二丁目の写真館 花咲小路シリーズ(7)	小路 幸也	ポプラ社	日本小説
ブラックボックス 〈芥川賞受賞作〉	砂川 文次	講談社	日本小説
おんなの女房	蟬谷 めぐ実	KADOKAWA	日本小説
タイムマシンに乗れないぼくたち	寺地 はるな	文藝春秋	日本小説
O ZERO	堂場 瞬一	河出書房新社	日本小説
鑑定人 氏家京太郎	中山 七里	双葉社	日本小説
サンセット・サンライズ	楡 周平	講談社	日本小説
怪物	東山 彰良	新潮社	日本小説
おネコさま御一行 れんげ荘物語(6)	群 ようこ	角川春樹事務所	日本小説
階段ランナー	吉野 万理子	徳間書店	日本小説
掠れうる星たちの実験	乗代 雄介	国書刊行会	エッセイ
ないものねだるな	阿川 佐和子	中央公論新社	エッセイ
東大教授、若年性アルツハイマーになる	若井 克子	講談社	ルポルタージュ
青と緑 ヴァージニア・ウルフ短篇集	ヴァージニア・ウルフ	亜紀書房	外国小説
レニーとマーゴで100歳	マリアンヌ・クローニン	新潮社	外国小説



新着デージー図書紹介

新しく下の13タイトルが加わりました。
ぜひご利用ください。



書名	著者	出版社
帰郷	浅田 次郎	集英社
今度生まれたら	内館 牧子	講談社
空飛ぶ馬	北村 薫	東京創元社
夜の蟬	北村 薫	東京創元社
六の宮の姫君	北村 薫	東京創元社
秋の花	北村 薫	東京創元社
ひこばえ（上）	重松 清	朝日新聞出版
ひこばえ（下）	重松 清	朝日新聞出版
逃避行	篠田 節子	光文社
火城（かじょう）	高橋 克彦	PHP 研究所
トラヤ	南木 佳士	文藝春秋
凍える牙	乃南 アサ	新潮社
家族シネマ	柳 美里	講談社

デージー（DAISY）図書とは？

視覚に障がいがある方や、文字を読むのが困難な方のために開発されたデジタル録音図書（CD）です。



巡回場所	3月	貸出時間
山崎町内	8日（火）	10時～14時
千種町内	9日（水）	11時～14時
一宮町（学校・こども園）	4日（金）	9時30分～15時30分
一宮町内	19日（土）	9時15分～15時
波賀町（学童・保育所）	2日（水）＊	14時30分～16時
波賀町内巡回	26日（土）	10時30分～15時

巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。
場所・時間の変更の可能性があります。詳しくはお問合せください。
しーたん放送でもお知らせしています。

＊3月2日の波賀町（学童・保育所）は公用車で巡回します。

図書館カレンダー

3 月

日	月	火	水	木	金	土
		△	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

×休館：月曜日・祝日・年末年始
（月曜日と祝日が重なる時は、翌火曜日も休館）

△閉館：月末館内整理
・特別整理期間

開館時間：
9時30分～17時30分
（金曜日のみ18時30分まで）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各行事が中止、または、変更になる場合があります。

3月のえほんのじかん

いろいろなえほんをよみます。

5日（だい1どうび）

19日（だい3どうび）

3月のおはなしのじかん

むかしばなしなどをかたります。

12日（だい2どうび）

26日（だい4どうび）

10時30分からはじまります。

4さい以上の子どもがたいしょうです。
じかんにおくれないように来てください。

※マスクの着用をお願いします。

人数を制限する場合があります。



読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時	3月12日（第2土曜日） 13時30分～15時
作品	『時の旅人』 A・アトリー 作 松野 正子 訳

